

## ご当地ヒーローの誕生秘話

「超神ネイガー」を作った男「無名の男」はいかにして「地域ブランド」を生み出したのか

「見」だか、おめだちー！——。いわゆる「戦隊モノ」の格好をして、地域のイベントなどに出演する「ご当地ヒーロー」「超神ネイガー」が話題。秋田県生まれの「地産地消ヒーロー」だ。「超神ネイガー」が誕生したのは、今から3年前のこと。田んぼの真ん中でポーズを決め、アクションを繰り出すその姿に、多くのマスコミが殺到、アツという間にネイガーは全国ブランドに。著者である海老名保さんは、この「超神ネイガー」の生みの親であり、ネイガーその人でもある。プロレスラー、アクション俳優、スポーツジ



著／海老名保  
発行／WAVE出版  
価格／1500円＋税

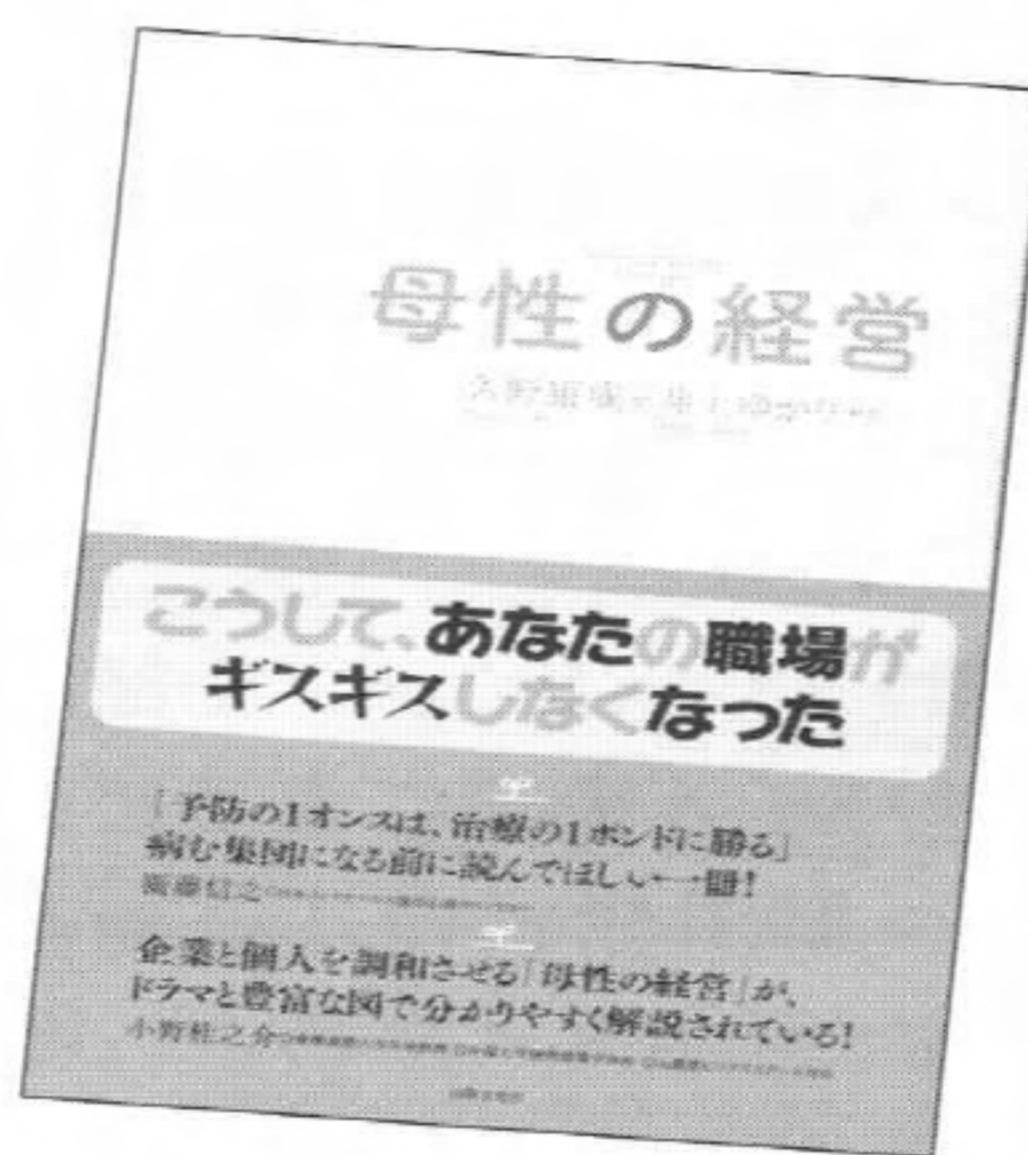
ム経営とことごとく挫折してきた海老名氏が、どのようにしてこのご当地ヒーローを生み出したのか、そのノウハウを含め克明に記されている。その描き方が実直そのもの。みずから「何をやるでも大成しない男」「金なし、コネなしの無名の男」といい、「育った環境」「正義のワル知恵」からこのヒーロー、ビジネスが生まれたとも。どうやら、本書には強者に勝つ地域ビジネス成功の秘ミツがツマツまっているようだ。

## 経営に必要な厳しさとやさしさ

### 母性の経営

は たして同書に登場する主人公「亜衣」に仮託した「母性の経営」とはなにか。経営とは心理戦争なのか、さっそく頁を開いてみた。本書では「母性の経営」プロジェクトに抜擢され、さまざまな立場の人物から悩みを聞きフォロワーを行っていく亜衣の姿が描かれる。とくに社長が手塩にかけて育て上げた役員が退社を決意し、それを引き留めようかどうか揺れる社長の間に入る亜衣の姿が印象的だ。

第6章では、企業理念や哲学などブランディングについて説明。その具体例として、アップル社



著者：久野康成 井上ゆかり  
発行：出版文化社  
価格：1429円＋税

を引き合いに出し、同社の「企業哲学」がいかに製品に反映されているかについて触れている。第7章では顧客や上司とのコミュニケーションを通じて成長した亜衣の姿が描かれる。企業には厳しさとやさしさが必要と説く本書は、柔らかな文体ながら、各章の後には関連する心理学理論が挿入されていて説得力がある。経営者だけではなく、心理学に興味がある人にとっても勉強になる一冊といえる。

## 家庭できる安全安心な野菜づくり

### 自然農薬の

### つくり方と使い方

植物エキス・木酢エキス・発酵エキス

農 薬というところか化学的なイメージがしてしまうもの。だが、本書によると植物や台所にある牛乳や酢で「自然農薬」をつくることができるという。その方法は実にシンプルでカンタン。たとえば、植物を煮る、焼酎や木酢液に浸けるといった感じでOKなのだ。

しかし、ここでひとつの疑問が。本来、農薬とは病害虫を殺すために使用するが、食物からつくる自然農薬では病害虫を殺すことはできないのではないか。実は、自然農薬は病害虫を殺すのではなく、作物そのものを健康にしたり、葉面や土中の微生物を元気にしたりすることで、作物の病気を防ぐことを目的としているという。また、植物のなかにはニンニクエキスのように強い殺虫、殺菌能力を持ったものがあるので、困ったときはこれを活用することもできるそうだ。

まさに、家庭菜園の手引きとして手元に置いておきたい一冊。安全、安心な野菜づくりを目指して自然農薬に挑戦してみようか。



編／社団法人農山漁村文化協会  
発行／社団法人農山漁村文化協会  
価格／1400円＋税